

病院・診療所・薬局 調査結果

分類	調査項目	調査内容	病院 n=214	病院医師 n=198	診療所 n=223	薬局 n=382	設問
(1) 患者との関わり 医師・薬剤師からみた	①患者に後発医薬品を勧める機会	処方／調剤する都度	-	17.7%	22.4%	17.3%	医師 ① 診療所 ③ 薬局 ⑦
		初診時／初回の来局時のみ	-	6.6%	3.6%	41.4%	
		患者から自己負担について申し出	-	30.3%	19.3%	6.5%	
		処方変更時	-	10.6%	10.8%	18.3%	
		勧めない	-	15.2%	19.7%	2.1%	
	②患者に後発医薬品を勧めるときに考慮する事項	医療費の自己負担	-	58.6%	48.4%	67.5%	医師 ② 診療所 ④ 薬局 ⑧
		処方／調剤する薬剤の効能（適応症）	-	40.9%	32.3%	52.4%	
		先発品との違いを気にする者	-	32.8%	22.4%	44.5%	
		説明に長時間を要すると思われる者	-	6.1%	6.3%	9.7%	
		年齢（小児、高齢者等）	-	5.6%	5.4%	19.4%	
	③患者に後発医薬品を勧めるときに説明する事項として重要と考える事項	性別	-	0.0%	0.4%	0.5%	医師 ③ 診療所 ⑤ 薬局 ⑨
		先発医薬品と同等の有効性があること	-	60.6%	48.0%	79.6%	
		先発医薬品と性状や使用感が異なること	-	43.4%	30.9%	41.1%	
		患者の窓口負担が軽減されること	-	64.6%	51.6%	76.2%	
		国民皆保険制度の維持に貢献すること	-	19.2%	22.4%	39.5%	
(3) 医師と薬剤師との関わり	①院外薬局が医薬品の銘柄を選ぶことについてどう考えるか	問題がある	35.0%	39.4%	48.9%	-	病院 ⑦ 医師 ⑧ 診療所 ⑩
		最適な銘柄を選んでいるかわからない	19.6%	22.2%	23.3%	-	
		院外薬局から銘柄について情報提供がない	7.9%	12.6%	16.6%	-	
		特に問題はない	63.6%	58.1%	47.1%	-	
	②-1 薬局が調剤時に後発医薬品の銘柄指定を選択する時の考え	患者に応じて最適な銘柄を選んでいる	-	-	-	15.7%	薬局 ⑮
		患者が使用しやすい工夫がされていること	-	-	-	5.2%	
		他の後発医薬品より安価であること	-	-	-	2.1%	
		処方箋発行元医療機関で採用されていること	-	-	-	2.4%	
		性状、使用感が先発医薬品と似ていること	-	-	-	1.6%	
	薬局に在庫がある後発医薬品を調剤する	-	-	-	81.2%		
	②-2 薬局が医薬品を採用する時に重視すること	安定供給	-	-	-	86.4%	薬局 ⑥
		適応症が同一	-	-	-	63.4%	
		情報が充実	-	-	-	50.8%	
		包装単位が小さい	-	-	-	44.8%	
		性状や使用感が似ている	-	-	-	36.6%	
		患者が使用しやすい工夫がされていること	-	-	-	34.8%	
		よく知っている医薬品メーカーであること	-	-	-	33.8%	
		他の後発医薬品より安価であること	-	-	-	18.1%	
	③-1 薬局は調剤した医薬品の銘柄について医療機関に情報提供しているか	薬価差益が大きいこと	-	-	-	14.4%	薬局 ⑯
		行っている	-	-	-	42.9%	
		行わない場合がある	-	-	-	36.9%	
	③-2 院外薬局から調剤した医薬品の銘柄について情報提供があるか	行っていない	-	-	-	16.2%	病院 ⑧ 医師 ⑨ 診療所 ⑪
		受けている	43.9%	34.3%	52.5%	-	
		受けていない	33.6%	54.0%	36.3%	-	
		不要であることを取り決めている	6.5%	-	4.0%	-	
薬局を信頼しているから		2.8%	-	2.2%	-		
病院・診療所内で、薬局からの情報提供の内容を伝達するのに手間がかかるから	1.9%	-	1.8%	-			
(4) 医師・薬剤師と後発医薬品との関わり（経験）	①後発医薬品の効果が先発医薬品と異なることの経験の有無（経験時期、経験後の対応、PMDAへの報告）	ある	-	44.9%	52.9%	59.4%	医師 ⑥ 診療所 ⑧ 薬局 ⑫
		平成25年以降	-	28.8%	32.7%	45.3%	
		平成24年以前	-	21.7%	28.3%	19.4%	
		PMDAへ報告した	-	0.0%	1.3%	1.3%	
		PMDAへ報告しなかった	-	22.7%	24.7%	27.7%	
		窓口を知らなかった	-	21.7%	26.0%	27.7%	
		当該患者にのみ当該医薬品の処方を変更／推奨をやめた	-	35.9%	31.8%	49.5%	
		当該患者にのみすべての医薬品の処方を変更	-	1.5%	4.5%	-	
	他の患者に対しても、当該後発医薬品の処方を変更／推奨をやめた	-	7.6%	13.0%	7.3%		
	ない	-	52.5%	42.2%	37.4%	医師 ⑦ 診療所 ⑨ 薬局 ⑬⑭	
	②-1 不足している後発医薬品の情報の有無	ある	-	68.2%	70.0%		48.2%
		安全性情報（イエローレター等）	-	42.4%	35.4%		12.8%
適応症や剤型の追加等に関する情報	-	14.6%	15.7%	27.7%			
②-2 PMDAホームページの認知度／メディナビの登録の有無	認知度	-	18.2%	17.0%	-		
	登録有	-	-	-	74.1%		

分類	調査項目	調査内容		病院	病院医師	診療所	薬局	設問
(5) 医師・薬剤師と後発医薬品との関わり(不安)	後発医薬品の使用方針	入院患者への処方(病院)	積極的	71.0%	68.7%	-		病院⑤ 医師④ 診療所⑥ 薬局⑩
			非積極的	8.9%	28.8%	-		
			個々の医師の判断	19.6%	-	-		
		外来患者への院内処方(病院・診療所) * 院外処方のみを除く	積極的	62.3%	67.3%	37.9%		
			非積極的	9.1%	29.3%	26.9%		
			個々の医師の判断	28.6%	-	6.9%		
		外来患者への院外処方(病院・診療所) * 院内処方のみを除く	積極的	37.8%	57.1%	43.0%		
	非積極的		6.7%	40.1%	38.8%			
	個々の医師の判断		54.9%	-	16.8%			
	院外調剤(薬局)	積極的	-	-	-	84.8%		
		非積極的	-	-	-	12.8%		
	①-1 後発医薬品に対する不安の有無(対象:院外処方・院外調剤で「非積極的」以外)	ある		55.6%	33.8%	31.8%	48.2%	
		ない		37.4%	26.8%	27.8%	31.4%	
	①-2 不安の内容	効果の違い	承認審査の試験項目が異なる	18.2%	10.6%	9.4%	14.7%	
			添加剤が異なる為、同等の効果がないと思う	27.1%	12.6%	17.0%	17.8%	
			製造所の品質管理が同等でないと思う	10.3%	5.6%	8.1%	7.1%	
			効果の違いを経験	22.9%	11.6%	16.1%	14.9%	
			同僚等他の医師から聞いたから	5.1%	3.5%	2.7%	3.9%	
		添加剤が異なる為、品質が同等でない	29.9%	16.7%	16.1%	22.0%		
		先発品にはない副作用が出る可能性がある	24.3%	15.2%	13.0%	18.6%		
		性状・使用感が異なる	23.8%	10.6%	13.9%	29.1%		
		患者が処方変更したと誤認する	同等の効果を得られないように思う	12.1%	9.1%	8.5%	12.0%	
			同等の効果を得られないように思う	11.7%	3.0%	7.2%	13.4%	
		情報不足	27.1%	15.7%	10.8%	9.4%		
		院外薬局で調剤される医薬品の銘柄がわからないから	12.6%	11.6%	13.9%	-		
院外薬局が選択した医薬品で副作用が発生しても、処方医が責任を負わなければならないように思うから		9.3%	4.5%	10.8%	-			
安定供給されない可能性がある		-	-	-	29.6%			
経験した		平成25年以降	-	-	-	27.2%		
		平成24年以前	-	-	-	24.1%		
			-	-	-	7.3%		
②積極的に使用しない理由及びその理由を選んだ理由(対象:院外処方・院外調剤で「非積極的」)		患者の希望	1.4%	12.1%	10.8%	8.9%		
		効果が異なるように思う	2.8%	21.2%	26.9%	5.2%		
	承認審査の試験項目が異なる	添加剤が異なる為、効果が異なると思う	1.4%	8.1%	13.9%	2.6%		
		製造所の品質管理が同等でないと思う	1.9%	12.1%	16.1%	2.9%		
		効果の違いを経験	1.9%	7.6%	12.1%	1.0%		
		同僚等他の医師から聞いたから	0.9%	9.6%	14.8%	2.9%		
		同僚等他の医師から聞いたから	0.9%	6.1%	3.1%	0.5%		
	添加剤が異なる為、品質が劣ると思う	1.4%	10.6%	12.6%	2.9%			
	先発品にはない副作用が出る可能性がある	1.4%	13.6%	18.4%	2.4%			
	性状・使用感が違う	1.4%	10.1%	9.4%	3.7%			
	同等の効果を得られないように思う	患者が処方変更したと誤認する	0.9%	3.5%	4.9%	1.8%		
		患者が処方変更したと誤認する	0.5%	6.6%	5.8%	2.1%		
	情報不足	1.4%	11.6%	16.1%	0.8%			
	院外薬局で調剤される医薬品の銘柄がわからないから	0.5%	10.1%	9.4%	-			
	院外薬局が選択した医薬品で副作用が発生しても、処方医が責任を負わなければならないように思うから	0.5%	8.6%	10.8%	-			
	オーダーリング画面に一般名や後発医薬品名が表示されず、入力に手間がかかるから	0.5%	3.0%	1.8%	-			
	前回と同じ処方(do処方)をする場合、オーダーリング画面に一般名や後発医薬品名が表示されず、入力に手間がかかるから	0.0%	1.5%	1.3%	-			
	安定供給されない可能性がある	-	-	-	5.2%			
	経験した	平成25年以降	-	-	-	3.9%		
平成24年以前		-	-	-	3.1%			
		-	-	-	2.4%			
在庫管理の負担が大きいから	-	-	-	4.5%				
(6) 後発医薬品への対応状況/使用する環境	①DPC等対応状況	参加	40.2%	-	-	-	病院①	
		参加	70%以上	29.0%				病院②-1
			60%以上70%未満	6.5%				
			50%以上60%未満	1.4%				
			50%未満	2.3%				
	非参加	加算1(病院:70%以上、薬局65%以上)	14.0%			33.5%	病院②-2	
		加算2(病院:60%以上、薬局75%以上)	5.1%			17.0%	薬局②	
		加算3(病院:50%以上)	1.9%			-		
	②オーダーリングシステム導入状況	導入	118件(55.1%)			117件(52.5%)	病院④ 診療所②	
		導入のうち、後発品(一般)名同時表示	53件(24.8%)			70件(31.4%)		
		同時表示のうち、“do処方”時表示	27件(12.6%)			55件(24.7%)		